

# Bell Forum

ベルフォーラム

地域と職員とともに栄えるチーム

## 緩和ケア科の挑戦

**連載** 登録医のご紹介

高取山頂上より  
写真 南村弘佳

2015  
Autumn  
No. 49

### ■ TOPICS

ベルランド総合病院における医療安全文化の醸成  
第2回在宅医療連携交流会を開催しました  
永年ボランティア活動者表彰式を行いました  
新人野外研修のご報告  
家庭用自動血圧計 正しい測り方していますか？

## 緩和ケア科の挑戦

様々なつらさをやわらげ

より豊かな生活を送るために

### 緩和ケアとは

緩和ケアの定義については日本緩和医療学会で検討を重ね、「重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアのこと」という表現で広めているところです。

一般の方はもちろんのこと、医療者の間でも「緩和ケアとは、病気が進行して、治療の方法がなくなってから行うものである」というような考えが未だ根強いことは、残念ながら否定できません。緩和ケアは、医療・ケアの基本として時期・場所を問わず提供すべきものです。身体や心のつらさを和らげ、患者さんを支え、自分らしい生活を送ることができるように、ベルランド総合病院でもそのような概念の普及を目指して、日々活動に取り組んでいます。

### 緩和ケア病棟

平成 26 年 9 月の新病院設立を機に、最上階である 10 階に緩和ケア病棟が設立されました。院内外のがん患者さんの苦痛な症状の緩和、在宅療養で介護疲れを抱えるご家族の支援、そして穏やかな看取りを行うことを目指して、病棟スタッフが一致団結して、日々ケアに取り組んでいます。

病棟の特徴としては、お体もお気持ちも穏やかに過ごしていただくために、全室個室で落ち着いた色調で統一しました。患者さん、ご家族の方々が集い過ごしやすいように、ルーフガーデンとファミリーキッチンを設けました。毎日のご家族が面会に訪れ、ご家族で食事をしたり、お誕生日を祝うなど、大切な思い出づくりのお手伝いをさせていただきます。



天気のいい日には  
ベッドのままガーデンへ。  
日によっては足湯で  
リラックスしていただくことも  
可能です

お部屋で診察を行います



症状が和らいて状態が落ち着かれましたら、患者さん・ご家族の方々のご希望をお伺いし、医療ソーシャルワーカーと協働して在宅療養の支援も行っております。退院された後も、緩和ケア外来でフォローを行ったり、訪問診療の先生方、訪問看護ステーションと連携し、必要時には再度入院していただいたりするなど、在宅療養のバックアップとしての機能も強化していきたいと考えております。

キッチンからは  
ガーデン、堺市内が一望できます



いろいろな催しを行う  
リビングコーナー

緩和ケア病棟ではご家族への悲嘆ケアも積極的に取り組んでいます。状態が変化し悲しみを表出される際には、そのお気持ちに寄り添い傾聴するなどケアを行っております。亡くなられた後、折をみてお手紙や入院中のお写真をお送りすると、病棟にその後のご様子をお話ししに来て下さることも多く、この病棟はご家族にとっても悲嘆を共有する拠り所となりつつあります。

今年 9 月には初めての遺族会を開催する予定です。今後も関係者の皆様のご支援をいただきながら、よりよい病棟づくりに取り組んでいきたいと思っております。

## 緩和ケア外来

緩和ケア外来においても、患者さん本人のみならず、ご家族のサポートも行ない、身体的苦痛および精神的苦痛の緩和も目指しています。病気や将来に対する不安などの相談もあるため、がん看護専門看護師や緩和ケア認定看護師などの専門的知識を有した看護スタッフと共に外来診療を行っております。

### ①症状緩和目的での通院

がん治療の有無に関わらず、通院中の患者で症状緩和が必要な方のフォローも行っています。がん化学療法中であれば症状の緩和を担って治療の継続をサポートし、診断時からの緩和ケアを実践しています。意思決定支援、症状緩和中心の治療への移行などにも介入してがん治療医を支援しています。

### ②他施設からの紹介に対する面談

他施設での治療を終え、ご自宅で過ごしたいという場合には通院していただき、また在宅支援のサポートも多職種と協働して行っています。

緩和ケア外来は、毎週金曜日午前（担当：山崎）、土曜日の午後（担当：大場）に実施しています。今後もチームアプローチで質の高い緩和ケアを提供していきたいと思っております。



緩和ケア外来

緩和ケアチーム  
カンファレンスの様子



## 緩和ケアチーム

緩和ケアチームは、患者さんにご家族に直接緩和的治療とケアを提供すると同時に、主治医の先生方のサポート役でもあります。当院の緩和ケアチームは毎週水曜日にメンバーが集まり、カンファレンスと回診を行っています。

緩和ケアチームのメンバーは、日本緩和医療学会専門医、緩和ケア専従医師、精神科医師、がん看護専門看護師、家族看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー、栄養士などの多職種から構成されています。それぞれの専門性を活かし、患者さんやご家族の身体や気持ちの「つらさ」を緩和できるように、主治医の先生や担当看護師と協力しながら日々活動しております。

## 今後の取り組み

将来的には、緩和ケア病棟、急性期病棟、緩和ケア外来が院内でのスムーズな連携を築き、大阪府がん診療連携拠点病院として、周辺の医療施設、訪問看護ステーションとの連携を密にし、がんの診断時から終末期ケアまで実践することをモットーとして、切れ目のない緩和ケアを実践していきたいと思っております。



緩和ケア科 副部長

やまざき けいいち  
山崎 圭一

日本緩和医療学会：専門医・代議員  
日本サイコオンコロジー学会：代議員

緩和ケア科 科長

えとう みわこ  
江藤 美和子

がん看護専門看護師

緩和ケア科 副部長

おおば かずき  
大場 一輝

日本外科学会：専門医

# ベルランド総合病院における医療安全文化の醸成 ポジティブ・インシデントレポートから、 チームステップスへ

クオリティ管理センター 副部長 楠本茂雅

## チームとしての「パフォーマンス」 適応性・正確性・生産性・効率性・安全性の向上をめざして

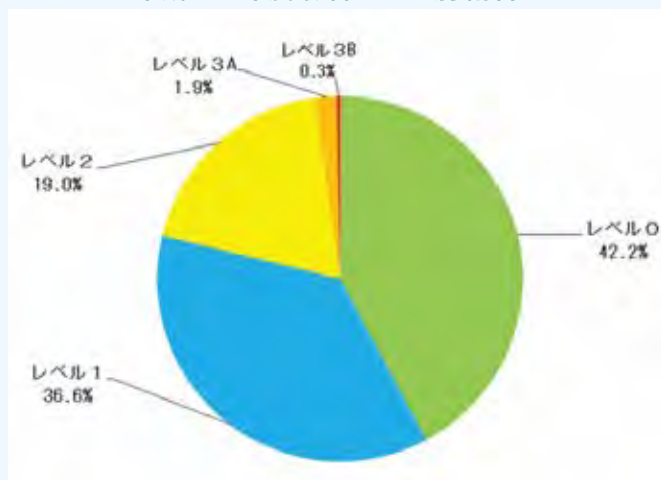
我々医療スタッフのモチベーションは、最終的に患者さんの状態が良くなって退院の日を迎えることですが、それ以外にも他の専門職から「Good job：良い仕事をしたね！」だとか「ありがとう！」という言葉をかけられることも、大きくモチベーションを上げることになると思います。

そして、また次の患者さんにも Good job と言われる仕事をみんなでしたい！という善循環が回り出すのです。

### 1 影響レベル別の占有率

2014年度の影響レベル別占有率は、レベル0が42.2%とレベル1が36.6%となっており、報告件数の約80%を占めています。レベル0や1は、誤った行為をする前に自身で気づき修正できたものや、準備中に他者のエラーを発見できたものが対象となるため、報告するかどうかは報告者の任意性が高くなります。事故を防ぐことが出来る能力と、些細なことでも報告するという積極的な医療安全活動への取り組み姿勢が評価され、当院の安全文化の醸成にたいして日本医療機能評価機構からもS評価を受けました。

平成26年度影響レベル別割合



レベル0 + レベル1 = 78.8% (患者に実施されるまでに、発見・修正できたもの)  
レベル2を合わせると、全報告数の97.8%がインシデント報告となる  
当院の安全文化(特に報告の文化)は、理想的な状態であると考え

### 2 インシデントレポートの総報告件数の推移

インシデント・アクシデントレポートの年間の総件数は、2003年度が2,160件(月平均180件)でしたが、2014年度は1万3,050件(月平均1,100件)と6倍に増加しました。

アクシデントレポートよりもインシデントレポートが多ければ良いとされており、月平均は1,000枚を超えるという病院は全国から見てもほとんどありません。医療安全管理者としては、報告件数を増やすことが最終目的ではなく、件数が多ければそれだけ、何が医療現場で起きているのか漏れなく把握することが出来るのです。

インシデント・アクシデントレポート 報告件数の推移



### 3 ポジティブ・インシデントレポートを増やすための取り組み「ベストサービスカード」

当法人にはもともと、よいサービスや行動に対して「ベストサービスカード」を職員に手渡し、年に一度、全職員の前で表彰するというシステムがあります。そこで2010年度から、事故を未然に防ぐことができたファインプレーの報告（ポジティブ・インシデントレポート）には、このカードを発行することにしました。この活動から、レベル0と1が大幅に増加し、また看護部の医療安全管理委員会と協働し、「事故を防止できるテクニックを共有しよう！」という活動を開始しました。ベストサービスカードをもらったインシデント報告の内容は、各部署のミーティングなどでリスクマネージャーが発表して情報を共有しています。



### 4 レジリエンスを共有して事故に強い組織作りへ

ジェームズ・リーズンの著書「組織事故とレジリエンス」には、「大事故を起こす理由は人間の不安全行動であるといわれているが、トラブルに見舞われた大惨事寸前のシステムを救うのは人間の順応行動の高さと対処行動の素晴らしさである」と書かれています。また、最近の医療安全界ではSafety IIやレジリエンスと呼ばれる、業務上の潜在的な危険性に対する個人の抵抗力や回復力にもっと注目し、その能力を共有化する必要性があるといわれてきています。当院では事故を防ぐことが出来たレベル0や1のポジティブ・インシデントレポートを、レジリエンスとして賞賛し、その内容を各部署や院内で共有する活動を既に行ってきたといえます。



### 5 更なる医療安全文化の醸成を目指してチームステップス（TeamSTEPS®）を導入します

チームステップス（TeamSTEPS®）とは、Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety の、頭文字を取って呼びやすくした略称です。チームステップスは、米国国防省が、米国医療研究品質局（AHRQ）の協力のもと2005年に開発された、医療チームのパフォーマンスを最大限に活用し、患者のアウトカム（目標とする治療結果）を最適化することで、そのために必須である患者安全文化を醸成することを目的としたチームワークシステムです。



### 6 チームステップスの研修方法

現在、病棟や部署単位で出来るだけ多職種が研修に参加できるようにして、90分コースで導入編を実施しています。今年度は全職員に、まずチームステップスに出てくる言葉の意味やコミュニケーション・スキルについて理解をしてもらおうと考えています。15分をビデオ学習で、Bad job と Good job を見比べて、それぞれのチームのパフォーマンスの差を理解します。次に45分間の講義スタイルでチームステップスのリーダーシップ、状況観察、相互支援、コミュニケーションの4つのコンピテンシーについて理解します。

最後に、自部署で発生したインシデントを、今日学んだチームステップスのツールを使うと、未然に防ぐことができたか



グループディスカッションを行います。また、強化学習を含めてベストサービスカードでのフィードバックに、チームステップスのどのツールが上手く機能したかを貼り付けて返すようにしています。



# 登録医のご紹介

## 中内子どもクリニック

なかうちしょうへい

院長 中内昭平先生

小児科・アレルギー科



住所：大阪府堺市北区中百舌鳥西之町 2 丁目 533-1  
TEL：072-240-8080



血液型：B型

星座：射手座

趣味：ゴルフ・旅行・ドラマ

Q. 診察の際に心がけている事は？

A. しっかり話を聞き、全身を診察すること。  
また、何故この薬が必要か、現在どういった状態であるかを理解してもらうこと。

Q. 地域医療について

A. 地域のかかりつけ医として、できる限り何でも対応できるようにしています。  
特に、発達障害などは地域とも連絡をとっています。

Q. ベルランド総合病院への希望・要望

A. 安心して紹介できる病院なので、今後もよろしくお願ひします。

Q. 最後に一言お願いいたします。

A. 開院して1年半ですが、特色のある病院が実現でき、やりがいを感じて頑張っています。

	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	休	休
予防接種 乳児健診 フォローアップ外来 14:00～16:30	○	○	休	○	○	休	休	休
午後 17:00～19:00	○	○	休	○	○	休	休	休

※ 休診日… 水・土曜午後、日曜、祝日

## 新規登録医

北区	あらまき整形外科クリニック あらまき ただみち 荒巻 忠道
堺区	富田内科医院 とみた なるや 富田 奈留也
東区	西沢整形外科クリニック にしざわ とおる 西澤 徹
大阪狭山市	ふじた子どもクリニック ふじた しんすけ 藤田 真輔

登録医件数 H27.6.26 現在 368 件

## 医療従事者向け セミナー

8月22日(土)	第15回堺・泉北呼吸器カンファレンス ベルランド総合病院 AIF ホール
8月29日(土)	第7回南大阪医学教育セミナー ホテル・アゴラリージェンシー堺
9月26日(土)	第1回認知症カンファレンス ベルランド総合病院 AIF ホール
10月31日(土)	第19回ベルランド地域医療懇話会 ベルランド総合病院 AIF ホール

第20回  
ベルランド健康塾

市民向け セミナー 【参加無料】



# 骨粗鬆症

の話でもしようか。

骨折の予防って、  
とっても大事なんだよ。  
寝たきりにならないためにもさ。  
専門家の話を聞いてみないか？

骨粗鬆症マネージャー / 運動器認定理学療法士

講師 理学療法室 主任 理学療法士 田中暢一

日時 平成27年 8月27日(木) 午後2時30分  
午後3時00分

場所 ベルランド総合病院 地下1階 AIF ホール  
※ご予約は不要です。直接お越しください。

お問い合わせ ベルランド総合病院  
地域医療連携室 TEL 072-234-2001 (代)



## 『第2回ベルランド在宅医療連携交流会』を開催いたしました ～CAFE・BELL LANDへようこそ♪～

患者相談・地域連携部 医療福祉相談室 室長補佐 森本智子

5月23日(土)地域の在宅医療・福祉を支える医療機関・福祉施設・介護保険事業所の関係者が集まり、『第2回ベルランド総合病院在宅医療連携交流会』を開催しました。今回の参加者は昨年を上回る124名でした。会の始めに、新築移転後より本格稼働した『入退院支援センター』の機能を紹介させていただきました。続いて、コーヒーや軽食、歓談を愉しみながらグループワークを行うワールドカフェ形式で、『2015年度多職種連携で今やらなければいけないこと』をテーマにグループディスカッションを行いました。



各グループで繰り広げられた熱い対話の足跡を各参加者に残してもらうためにテーブルに設置した模造紙には、今感じる在宅医療連携の課題や希望、専門職としての使命感や苦悩、情熱など数えきれない想いがこもったメッセージが書かれていました。最後に参加者全員でそれらを共有したことで、今そして未来の『在宅医療連携』のあり方、各々の役割を再認識出来た貴重な機会となりました。



## POT法を導入しました

臨床検査室 主任 笹谷純平

微生物の遺伝子情報を解析し、菌株の識別(タイピング)を行うことは、院内感染対策を行う上で非常に重要です。今回、導入されたPOT法は、PCR-based open reading frame typingの略称で、新しい分子疫学解析手法の一つです。POT法では複数の特定遺伝子を同時にPCRで増幅させ、ゲル電気泳動法で分離・検出します。従来法に比べて、特別な装置を必要とせず、短時間で結果を得ることが出来ます。



黄色ブドウ球菌用POTキットでは、PCR結果を3つのカテゴリーに分け、数値化します。この結果から数値が同じであれば同じ遺伝子、異なる数値であれば異なる遺伝子型であると判断します。

当院では新規で検出されたすべてのMRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)をPOT法で解析し、場所と時間的背景と組み合わせることで、院内感染が疑われる場合は、感染対策チームによる検証・現場指導を行っています。

リアルタイムに客観的なデータを臨床現場に示すことで、より有効な感染対策を迅速に行うことが可能になりました。

	導入前		導入後
交差感染確認方法	感受性試験検査	遺伝子解析検査 (パルスフィールドゲル電気泳動法)	遺伝子解析検査 (POT法)
結果までの時間	18時間	2週間程度	4時間
同一菌か否かの整合性	なし	あり	あり
介入までの時間	翌日以降	2週間後	4～5時間
介入時の科学的根拠	なし	あり	あり



## いづみ健老大学主催 市民公開講座について

慢性疾患看護専門看護師 片山将宏

6月16日(火)堺市立榎文化会館ホールで、いづみ健老大学主催 市民公開講座が開催され、当院から講師として医師、看護師が参加しました。受講生が320名を越す盛況となりました。

第1部は「長寿の秘訣～食事を見直そう～」というテーマで、内分泌・代謝内科 八木稔人部長から食事療法についての基礎や最新の知見について、慢性疾患看護専門看護師 片山将宏から食事療法を継続するポイントについて講演しました。



整形外科  
倉都滋之 副院長



内分泌・代謝内科  
八木稔人 部長



慢性疾患看護専門看護師  
片山将宏



堺市外からも大勢の受講生が参加。会場全体で動きを学びました。

第2部は、整形外科 倉都滋之副院長が「いつまでも自分の足で歩きたい:ロコモ予防で健康長寿」というテーマで、健康寿命を改善できるのか、転倒しないためにはどのような運動をすればいいのか等、実際の動きを交えて講演しました。

講義内容をメモに取るなど熱心な受講生の方が多く、健康に対する関心の高さを窺うことが出来ました。

## 永年ボランティア活動者表彰式を行いました

薬剤部 リーダー 田口英輝

6月6日(土)に「永年ボランティア活動者表彰式」を開催しました。表彰式にはボランティアさん18名、病院管理職16名、ボランティア委員17名が出席しました。平成19年度より始まり、今回8回目となったこの表彰式は、ボランティアさんの活動時間が250時間を超える毎に表彰するものです。今回は250時間2名、500時間2名、750時間1名、2000時間1名の計6名が表彰されました。ボランティア・グループ「ベル・フレンド」が活動を開始してから13年が経ち、1回2時間の活動をパートナーと病院のために継続して頂いた結果です。



昨年の9月に新病院がオープンした際には、外来案内などで大活躍していただき、パートナーと病院の橋渡しをしてくれる存在だと実感しました。今後も元気で活動を継続して頂きたいです。またボランティア委員会もしっかり病院とボランティアさんの橋渡しをしていきたいと考えています。

### ボランティアさんのお仕事

- ・再診受付機の操作のお手伝い
- ・院内案内、患者さま案内
- ・車椅子の補助
- ・退院時の患者さまのお見送り
- ・軽作業(縫い物など)
- ・車椅子のメンテナンス
- ・院内コンサートの飾りつけおよび製作

などなど♪

病院内で  
大活躍中



# 新人野外研修に行ってきました

新入職員 116名 引率 45名 総勢 161名です！



他部署の方とも楽しく交流できました。ここにいる皆が一人前の医療者へと日々成長しているのだと実感し、自分も頑張ろうという思いが強くなりました。  
薬剤部 榎崎寛子

ゆっくりと話す機会がなかった同期と1カ月ぶりに共に行動し、お互いの近況を話すことができました。同期の絆がより深まり、これから支え合って頑張ろうと改めて感じました。  
医療情報課 鎌田ひかる

椎茸のバーベキューはとても美味しく、その後クイズを解きながらハイキングを行い、正解出来ませんでした。チームの仲が深まった一日でした。  
ICU 三宅 行菜

## 第19回ベルランド健康塾「あなたとコレステロールと食事」を開催しました

栄養管理室 室長補佐 管理栄養士 正木美由紀

5月14日当日は、あいにくの雨のなか85名の方が参加して下さいました。

コレステロールについては、テレビや新聞等でも話題に上ることが多く、会場の皆様からも強い関心が伺われました。厚生省が5年ごとに改定している『日本人の食事摂取基準』では、2015年版からコレステロールの摂取目標量がなくなりました。これにより「食習慣改善不要」のように解釈される傾向が表れており、日本動脈硬化学会が注意喚起を行っています。



健康塾では、バランスよく食べることの必要性や、食事療法について説明させていただきました。終了後のアンケートでは「参考になりました」という好意的なご意見をたくさんいただきましたが、「なかなか実行するのが難しい」や「食生活に気を付けていても思うように良い結果が出ない」というご意見もありました。外来栄養指導では継続した支援ができますが、健康塾のように沢山の方々を対象に食生活を見直すきっかけを作っていくことも大切だと感じました。

# 正しい測り方していませんか？

自動血圧計をお持ちの家が増えました。街の家電量販店やホームセンターでも簡単に手に入るようになったことも理由に挙げられるでしょう。ここでは電子血圧計に関して臨床工学技士の私が臨床講釈技士？となって、少し語らせていただきます。

管理部 / 患者相談・地域連携部 副部長  
臨床工学技士 村中秀樹



水銀血圧計

従来、血圧の測定は腕を縛る帯（カフといいます）を加圧した後、聴診器で腕の音を聞きながら徐々に減圧していき、トクントクンと音が聞こえだした圧力が上の血圧です。さらに減圧していき音が消えた圧力が下の血圧となります。（左写真）この時の音をコロトコフ音ということからこの測定方法をコロトコフ法または聴診法といいます。自動血圧計は、カフの加圧・減圧を自動化し、マイクでコロトコフ音を検出するものや、音ではなく脈波の振動を検知するオシロメトリック法が利用されています。検知するものが音や振動であるため、どちらの方式の血圧計でも騒音や振動で正しく計測できなくなりますので、静かな場所で動かないように測定する必要があります。

ピンポン♪

## 正しい計測 + 血圧値



測定する部位は心臓と同じ高さにしませう。  
いつも同じ条件で測定しませう。



家庭での血圧測定での注意点は『いつも同じ条件で測定する』ということです。血圧は時刻、直前の運動や入浴後など様々な要素により変動します。特に重要なのは血圧を測定する部位の高さで、測定する部位は心臓と同じ高さが基本です。

測定場所が心臓より高ければ血圧は低く表示されますし、心臓より低ければ血圧は高く表示されます。

血圧は様々な要素で測定値が変わることから、家庭で測定を行う際には表示された血圧の数値だけではなく、血圧の継続的な変化をみることが重要です。そのためには毎日同じ条件で測定することが大切です。

## ところで・・・

血圧の単位ってご存知でしょうか？近年単位を統一する動きがあり、圧力単位は Pa (パスカル) に統一されました。天気気圧を表す単位は以前 mbar (ミリバール) を使用していましたが、現在は hPa (ヘクトパスカル：Pa の 100 倍) を使用します。血圧も同様に Pa 表示に移行しようとしたのですが、医療で使用している単位である mmHg をそのまま使用しています。



高い位置での計測 + 血圧値



低い位置での計測 + 血圧値

